



2026 年 7 月 1 日

各 位

SE ホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長 速 水 浩 二
(スタンダード・コード 9 4 7 8)
問 い 合 わ せ 先
執行役員経営企画部部長 松 村 真 一
T E L 0 3 - 5 3 6 2 - 3 7 0 0

【翔泳社】note の GENIAC 事業の実証にパートナーとして参画

当社グループ子会社である株式会社翔泳社（東京都新宿区舟町 5 代表取締役 臼井かおる）は、note が取り組む GENIAC 事業に、新たな実証パートナーとして参画しました。本事業は、経済産業省および国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する生成 AI 開発推進プロジェクト「GENIAC」の採択事業です。

今回の参画では、同社の書籍・Web メディアがもつ IT・ビジネス系の専門書・実務書を中心とした高精度なファクト情報が、実証実験用の RAG（検索拡張生成：AI が回答時に外部データを参照する技術）を通じて、期間中安全に参照（閲覧）される仕組みの検証に活用されます。なお、本データが生成 AI の学習に利用されることはなく、回答時に一時的に参照されるのみです。詳細につきましては、添付しました同社プレスリリースをご参照ください。

当社グループでは、今後もオンラインメディアやイベントなどを通じて、IT 市場、オンライン市場の発展や企業の DX・AX 化に寄与していきます。

◆本件に対するお問い合わせ

株式会社翔泳社

広報担当：長田 cr@shoeisha.co.jp

TEL：03-5362-3810

◆IR に関するお問い合わせ

SE ホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

経営企画部経営企画課

TEL：03-5362-3700

お問い合わせ - SE Holdings and Incubations Group (sehi.co.jp)

以 上

翔泳社がnoteのGENIAC事業の実証に参画 AI時代のコンテンツ流通基盤を構築

note

SE
SHOEISHA

翔泳社がGENIAC事業の実証に参画

noteが取り組むGENIAC事業に、株式会社翔泳社が新たな実証パートナーとして参画しました。本事業は、経済産業省および国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する生成AI開発推進プロジェクト「GENIAC」の採択事業です。

翔泳社は、IT・ビジネス・デザイン等の書籍出版とWebメディア運営を核に、実務に根ざした専門性の高い知見を長年発信してきた出版社です。AI時代においてもクリエイターやメディアが安心してコンテンツを届けられるエコシステムを築くという本事業の考え方に強く共感し、本参画を決定いたしました。

今回の参画では、翔泳社の書籍・WebメディアがもつIT・ビジネス系の専門書・実務書を中心とした高精度なファクト情報が、実証実験用のRAG（検索拡張生成：AIが回答時に外部データを参照する技術）を通じて、期間中安全に参照（閲覧）される仕組みの検証に活用されます。なお、本データが生成AIの学習に利用されることはなく、回答時に一時的に参照されるのみです。

本事業ではすでに完成しているRAGデータベースのプロトタイプをもとに、各パートナーのコンテンツを用いた実証を重ね、精度を高めています。翔泳社の専門知見が加わることで、流通基盤づくりに向けた検証をさらに進めていきます。

翔泳社の参画について

翔泳社は、本事業において以下の部分で実証に参画します。

- コンテンツデータの一部提供
- データホルダー（権利者）向け管理機能の検証への協力
- 出版コンテンツの権利保護と適正な対価還元を両立するための、法務・実務的な仕組みづくり（技術・実務検証）への協力

GENIAC事業と「RAGデータエコシステム」について

本事業は、経済産業省とNEDOが実施する、国内の生成AI開発力強化を目的としたプロジェクト「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」における、「生成AI開発加速に向けたデータ・生成AIの利活用に係る調査事業」として採択されました。本事業は事業期間1年・予算15億円以内（※）として実施されます。

（※）調査期間の延長や予算規模について別途認められた場合は、事業期間2年（ただし最長2027年12月まで）・予算上限20億円以内まで引き上げが可能。

本事業では、RAG（検索拡張生成）技術を活用し、出版社、学術団体、報道機関、ウェブメディア等の持つ高品質なコンテンツを、AIが回答を生成する際に参照できるデータベースを構築します。

なお、コンテンツの候補については、既存の著作権保護の観点からとくに配慮が必要な「物語（フィクション）」等の領域ではなく、情報の正確性や出典の明示が価値となる「ニュース」「辞書」「実用書」「新書」「経済ビジネス」「マネー投資」などのファクト情報に限定し、権利処理を適正に行ったものに限るものとします。

実証パートナー一覧（2026年6月時点・公表済みの事業者のみ掲載）

- 株式会社KADOKAWA
- 株式会社ダイヤモンド社
- 一般社団法人学術著作権協会
- 株式会社翔泳社（新規参画）

本事業では、引き続き参画いただける企業・団体を広く募集しています。ご関心をお持ちの方は、以下の窓口までお問い合わせください。

E-mail: ai-biz@note.jp

株式会社翔泳社

株式会社翔泳社（本社：東京都新宿区舟町5、代表取締役社長：臼井かおる）は、IT・ビジネス・デザイン・マーケティング等の専門書・実用書の出版および関連Webメディアの運営を行う出版社です。実務に根ざした専門性の高いコンテンツを通じて、読者の学びと成長を長年にわたって支援しています。

所在地：〒160-0006 東京都新宿区舟町5

コーポレートサイト：<https://www.shoeisha.co.jp/>

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つれたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約7520万件の作品が誕生。会員数は1178万人（2026年2月末時点）に達しています。

●URL：<https://note.com/>

●iOSアプリ：<https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>

●Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援をうけたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2

設立日：2011年12月8日 代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社翔泳社 広報担当：長田 cr@shoeisha.co.jp

〒160-0006 東京都新宿区舟町5 4F tel：03-5362-3810